

# 北海道

# 碎石だより

(社)日本碎石協会北海道地方本部

NO 122

平成 23 年 6 月 30 日

平成 23 年度通常総会・関連行事

社団法人日本碎石協会

平成 23 年 6 月 1 日 (水)

東京都千代田区：都市センターホテル

平成 23 年度 《表彰式》

・資源エネルギー庁長官表彰

◎優良採石事業所 日鉄鉱業(株) 生産技術部 常盤採石所 (札幌支部)

・(社)日本碎石協会会長表彰

◎業界功労表彰 渡辺正利氏 (株)渡辺組取締役会長 (網走支部)

◎長期勤続表彰 佐藤厚志氏 稚内支部事務局長

奈良敏勝氏 釧根支部事務局長



優良採石事業所 日鉄鉱業(株) 常盤採石所



長期勤続表彰 佐藤厚志氏 稚内支部



資源エネルギー庁長官表彰受賞者



(社)日本碎石協会会長表彰受賞者

# 平成二十三年年度

社団法人日本砕石協会

通常総会終了（東京都）

副会長再任  
岡本繁美北海道地方本部長

六月一日、(社)日本砕石協会通常総会が全国各地から二八二名参加のもと開催されました。

北海道地方本部からは、岡本本部長、辻副本部長、日鉄鉱業(株)の岡田所長、同じく河原氏、王子木材緑化(株)細田取締役、稚内支部・佐藤事務局長、道本部・毛利事務局長が出席しました。

通常総会は山本会長の開催挨拶で始まり、会長は冒頭、東日本大震災で被災されたすべての方と関係者の皆様に深く哀悼の意を表され、日本の現状については、「資源の高騰、領土問題の軋轢、国内需要の縮小、財政の硬直化等、政治も行政も経済界も新たなビジョンを示しえず、日本国内のすべての人が悄然とすくんでしまっている。砕石業界にたずさわる我々が、東日本の復興に最善・最大の努力を傾けることで、復興・再出発の一助となることを祈念するとともに、本年も、(社)日本砕石協会の運営に、ご理解とご支援を賜りますことをお願いします。」と挨拶されました。

議事は、提案どおり承認され、最

後に役員改選が行われました。

山本会長が退任され、新会長には井上関東地方本部顧問が就任、副会長には岡本

北海道地方本部長が再任、金森関東地方本部長、才田九州地方本部長が新任され、総会を終了しました。



## ◎平成二十三年年度表彰式挙行

本部通常総会に引き続き、資源エネルギー庁長官表彰、並びに、(社)日本砕石協会表彰が行われました。

資源エネルギー庁長官表彰被表彰者には優良採石事業所として、札幌支部所属の日鉄鉱業(株)生産技術部常磐採石所が受賞し、当日は岡田所長に表彰状が授与されました。

(社)日本砕石協会業界第二種業界功労表彰に、網走支部渡辺支部長(道本部副本部長)が受賞され、第一種長期勤続表彰に、稚内支部佐藤事務局長、釧根支部奈良事務局長が受賞され、当日は佐藤事務局長に表彰状が授与されました。受賞者の皆様、これまでのご尽力に心から敬意を表します。

## 全国国有林採石協会

通常総会終了

六月三日、全国国有林採石協会通常総会がホテルメトロポリタンエドモント(東京都千代田区)で全国の各地区協会代議員が出席し開催されました。

北海道地区からは、社会長、岡本副会長、星加副会長、原田理事の四名と毛利専務理事が出席しました。

辻副会長(全国国有林)の開催挨拶にはじまり、塚田会長から「公共工事の減少、設備投資や個人消費の落ち込み、更には、リサイクル材等の使用増加により経営状況は厳しさを増している。砕石事業は社会資本整備に必要な骨材を地域に安定供給する使命がある。国有林から原石の供給を受けている協会員には、自然環境の保全、跡地の整備及び緑化等について、他の模範となるように努めなければならない。協会員が安定的かつ継続的な採石事業の操業を行うことを切望し、本部としても努力を重ねていく所存である。林野庁の、協会への一層のご支援をお願いしたい」との挨拶がありました。

議事は提案どおり承認され、林野庁に対する陳情・要望では、各地区協会の抱える問題が出され、活発な意見交換となりました。

北海道からは、森林管理局が発注する工事は新材で設計施工すること、鹿食害対策について要望しました。

最後に本部役員の改選が行われ、塚田会長(東京)の再任、辻副会長(北海道)、神村副会長(九州)が再任され、神村副会長の閉会挨拶で総会は終了しました。

(社)日本砕石協会北海道地方本部  
通常総会開催される(札幌)

平成二十三年度、(社)日本砕石協会北海道地方本部通常総会が、五月二十三日に会員、賛助会員、ご来賓のご出席のもと盛会に開催しました。

岡本本部長は総会開催にあたり、三月十一日に発生した「東日本大震災により犠牲となられた多くの方々、ご家族や家を失い避難生活を余儀なくされている方々、さらには、福島第一原発事故の影響を受けて避難されている方々に、お悔やみとお見舞いを申し上げ一日も早い復興を祈念する」と述べられ、(社)日本砕石協会が行った義援金の募集に多くの会員の皆様のご協力を頂いた事に感謝の意を示された。

また、「北海道の砕石業界の現状



は、公共事業の減少、再生骨材の優先使用、鉄鋼スラグの流通、燃料の高騰と砕石業を取巻く環境は厳しく問題も山積している状況にある。

昨年、関係団体と連携しながら関係機関へ骨材業界が抱える問題を訴えるとともに、その問題解決について要請をしてきた。

今年、東北地方の災害復旧に国家予算が傾注されることから、北海道経済は引き続き厳しい状況が続くことが想定される。道本部は引き続き、本部、支部、関係団体と連携し関係機関へ要請活動等を行なっていく。

労働安全については、砕石業における昨年度の重大災害発生件数は三件と減少しているが、他産業に比べ重大災害が多発している傾向にある。幸い、道本部管内ではゼロ災害を継続しているが、施設災害、行動災害の未然防止に取組まれ労働安全の確保をお願いする。」と話された。

このあと、議長には渡辺副本部長を指名し、議案審議の結果、提案されたすべての議案が承認され、総会は終了いたしました。



任期満了による役員改選では、次の方々が選出されました。今後の協会運営についてご指導宜しくお願い致します。

- 副本部長 岡本繁美 (札幌支部長)
- 副本部長 辻 庄嗣 (小樽支部長)
- 渡辺正利 (網走支部長)
- 橘井一実 (旭川支部長)
- 理事(会計) 青木 伸 (札幌副支部長)
- 理事 宮本義久 (小樽副支部長)
- 理事 杉下隆彦 (札幌副支部長)
- 理事 五十嵐正幸 (旭川副支部長)
- 理事 原田俊之 (留萌支部長)
- 理事 粥川照雄 (稚内支部長)
- 理事 平沼昌平 (函館支部長)
- 理事 佐藤和浩 (函館副支部長)
- 理事 出口廣樹 (釧根支部長)
- 理事 天方智順 (釧根副支部長)

今期退任された理事の皆様には、これまでのご指導にお礼申し上げます。また今年度、原田紘一様が相談役として就任されました。

- ＜ご来賓のご紹介＞
- 北海道経済産業局 資源エネルギー環境部小原鉱業課長、西村係長、北海道労働局 労働基準部東海林安全課長、北海道経済部 産業立地エネルギー局資源エネルギー課加藤課長、伊藤主査、(社)日本砕石協会山本会長、北海道砂利工業組合坂本専務理事、北海道生コンクリート工業組合山内専務理事、(社)北海道火薬類保安協会平賀専務理事

## 北海道国有林採石協会 通常総会開催される

平成二十三年度、北海道国有林採石協会通常総会が、五月二十三日に会員、ご来賓の出席のもと盛会に開催しました。



社長は総会開催にあたり、三月十一日に発生した東日本大震災により犠牲となられた多くの方々、ご家族や家を失い避難生活を余儀なくされている方々、さらには、福島第一原発事故の影響を受けて避難されている方々におみやみとお見舞いを申し上げ一日も早い復興を祈念すると述べられました。

次に、近年の採石業の経営環境については、公共工事の減少や民間需要の停滞で非常に厳しい状況にあることから、砕石業界の抱える問題の解決に日本砕石協会北海道地方本部と連携し取り組んでいく考えを示されました。

また、会員は国有林を事業現場としており、自然環境に配慮した採掘や採石跡地の整備、緑化に努め、業界のイメージアップを図るための事業実行が求められていること、事

業を実行していくためには労働安全の確保がなによりも重要であることから、安全対策には会社一丸となって取り組み、ゼロ災害を継続する職場づくりを努めることを求められました。

このあと、議長には石田副会長を指名し、議案審議の結果、提案されたすべての議案が承認され、任期満了による役員改選では次の方々を選出されております。

- 顧問 原田紘一 (ハラダ工業(株))
- 会長 辻 庄嗣 (カプト石材(株))
- 副会長 中村辰夫 (斜里地区砂利協業組合)
- 〃 惣万 優 (杏形採石工業(株))
- 〃 星加範保 (株平沼重機)
- 〃 岡本繁美 (岡本興業(株))
- 理事 山本浩平 (株マルトラ)
- 〃 源田茂男 (奈江採石協同組合)
- 〃 原田俊之 (ハラダ工業(株))
- 〃 粥川照雄 (浜頓別砂利工業(株))
- 〃 瀧澤忠一 (正和運輸(株))
- 専務理事 毛利敏昭 (員外)
- 監事 杉下隆彦 (住右マテリアルズ(株))
- 〃 岡田良寛 (日鉄鉱業(株))

これまで理事を務められた皆様にはご指導にお礼を申し上げ、新たに選任されました理事の皆様には、今後の協会運営についてご指導をよろしく願います。

ご来賓には、北海道森林管理局石井森林整備部長が出席されました。

## 北海道砕石協同組合連合会 通常総会開催される

平成二十三年度、北海道砕石協同組合連合会通常総会が、五月二十三日に全組合、ご来賓の出席のもと開催しました。

岡本会長は総会開催にあたり、三月十一日に発生した東日本大震災により犠牲となられた多くの方々、ご家族や家を失い避難生活を余儀なくされている方々、さらには、福島第一原発事故の影響を受けて避難されている方々に、お悔やみとお見舞いを申し上げ一日も早い復興を祈念すると述べられ、北海道経済の状況について、公共事業予算が年々削減され建設業界全体が大変厳しい経営環境に直面している。

砕石業については、生産量、出荷量はピーク時と比べると生産量で約47%、出荷量では約57%減少している。特に、路盤材の需要は再生骨材の優先使用や鉄鋼スラグ流通から砕石需要は大幅に減少しており、価格についても地域差はあるが依然として低迷している。

昨年は、砕石業を取巻く環境は厳しく問題も山積していたことから、道本部、関係団体と連携し問題解決に向けた活動を行ってきた。

今年度は、三月十一日に発生した東日本大震災の復旧で北海道開発予算の凍結も言われている。

今年度も建設業全体が引き続き厳しい状況になると想定されることから、昨年同様道本部、関係団体と連携を図りながら問題解決に向けて活動していく。

各組合のご理解・ご協力をお願いすると話された。

このあと、議長には旭川地方採石共販協同組合橋井理事長を指名し、議案審議の結果、提案されたすべての議案が承認され、任期満了による役員改選では、これまでの理事の皆様が再選されました。今後の組合運営について引き続き宜しくお願います。

ご来賓には、北海道中小企業団体中央会 連携支援部 坂本賢一連携支援課長が出席されました。

### ◇硬石山地区砕石業者連絡協議会 植樹祭開催される

五月二十一日（土）、硬石山地区砕石業者連絡協議会（原田俊之会長）が主催する植樹祭が昭和採石工業株式会社の採掘跡地で行われました。

当日は、朝から雨が降る悪天候でしたが、植樹祭を行う頃には雨も止み、植樹には絶好の条件となりました。

植樹祭には地元町内会、硬石山地区で採石を行っているハラダ産業(株)、住石マテリアルズ(株)、昭和採石工業(株)の職員、家族、北海道国有林

採石協会職員らが多数参加し、桜とライラックの苗木を一本一本丁寧に植樹しました。

この植樹祭は、採石跡地の緑化を地元町内会の方々と行うことで、採石事業について理解を深めて頂き、また、親睦を図ることを目的として続けてきている行事であります。

地元町内会の方皆さんも、毎年開催される植樹祭を楽しみにされており、朝からの雨を心配しながらも「木のためには一番良い日だ」と笑顔で植樹をされておりました。これからも植樹祭が長く続くことを期待しております。



### 北海道国有林採石協会に感謝状授与

五月二十五日（水）、公益社団法人北海道森と緑の会（堀達也理事長）の通常総会が開催されました。

その席上で、平成二十二年「緑の募金」の寄付に係る感謝状の授与式が行われ、北海道国有林採石協会に対して、公益社団法人北海道森と

緑の会 堀達也理事長から感謝状が授与されました。

北海道国有林採石協会が、昨年、協会設立三〇周年記念式典を行った際に、緑の募金に寄付をした事に対して感謝状が授与されたものです。

表彰式当日は毛利専務理事が出席し感謝状を授与されました。

### 平成23年度 安全スローガン

防ごう切羽災害！

採取前後の安全点検

無くそう重機災害！

重機の点検・安全運転

止めようプラント災害！

止めて行うプラント作業

#### 「編集後記」

遅くなりましたが、会員の皆様のお手元に、今年度第一号の「北海道砕石だより」をお届けいたします。

今年度は、第11回北海道砕石技術研究会を9月14日に開催し、翌15日は親睦ゴルフ大会を開催いたします。あらためてご案内いたしますので、多くの会員のご参加をお願いいたします。

「北海道砕石だより」を発行にあたり、各支部の情報を提供して頂きますようお願いいたします。

編集事務局一同